

費用

JICA負担





- 国内研修時及び出発空港までの往復交通費、及び宿泊費（※該当者のみ：公共交通機関の営業距離が50km以上。宿泊の可否はJICAで決定いたします。）
- 査証代、空港使用税
- 往復渡航費（含トランジットの際の宿泊費）
- 海外旅行傷害保険加入費（JICA規定分）
- 海外研修に必要な費用（車両備上等）

個人負担

- 面接にかかる交通費
- パスポート取得にかかる費用
- 予防接種、予防薬料（必要に応じて）
- 現地での宿泊費及び食費
※目安として15万円程度。為替状況等でも変化します
- 任意追加保険の加入費用
- その他個人目的の経費

海外研修内容

昨年度の日程をご紹介します。今年度も同様の訪問先とは限りませんのでご了承ください。

7.21(月)	成田空港発		
7.22(火)	ウガンダ着		
7.23(水)	午前：ブリーフィング 午後：立体交差建設・道路改良事業等 視察		
7.24(木)	午前：ホイマ県へ移動 午後：プリンディ地域農業調査開発研究所 訪問		
7.25(金)	午前：AAR難民を助ける会事務所 訪問 午後：チャングワリ難民居住区、学校等 訪問		
7.26(土)	午前：移動 午後：カンパラ市内 視察、教材収集		
7.27(日)	午前：ウガンダ野生生物保護教育センター 訪問 午後：振り返り報告会の準備		
7.28(月)	午前：コメ振興プロジェクト 視察 午後：プウィクエ県 協力隊活動地 視察		
7.29(火)	午前：あしながウガンダ 訪問 午後：メンデカレマ小学校 訪問		
7.30(水)	振り返り報告会・移動		
7.31(木)	成田空港着		

'25年度報告 昨年度の実施内容、授業実践報告です。ぜひご覧ください！



参加者の声

子供たちの世界を広げたいという思いで希望した研修だったが、自分自身の世界が広がった。たくさんの先生とのコミュニケーションが増えた！



自分が実際に行き、見てきた「リアルな世界の話」を直接子供たちに伝えられるようになったことは、私にとってとても大きな財産。

【お問合せ】

ご不明な点はお気軽にお問合せ・ご相談ください。
JICA筑波開発教育支援事業運営事務局教師海外研修担当：張（ちょう）
jica_deved@salasusu.com（緊急時以外、お問い合わせはメールをお願いいたします）
TEL：080-9879-7999

※2025年度JICA筑波の教師海外研修に係る業務は、認定特定非営利活動法人SALASUSUおよび特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティテュートの共同企業体に委託されています。



2026年度 JICA筑波 教師海外研修



2026年度の研修国は昨年度に引き続き、東アフリカに位置するウガンダ共和国。日本から遠く離れた海外の地で、教師が実際に体験し、見て、感じた衝撃・感動を生徒に伝えましょう！



研修国 **ウガンダ共和国**

募集期間 **2026.4.1水 ▶ 5.8金 必着**

海外研修日程

2026.7.21火 ▶ 7.31金

募集対象

茨城県・栃木県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校（1~3年生を担当）の教員

参加費用

無料 ※現地での宿泊費用・食費などは個人負担となります。

詳細の参加資格等については中面をご覧ください

主催：独立行政法人 国際協力機構 筑波センター（JICA 筑波）

後援：外務省、文部科学省
茨城県教育委員会（申請中）、茨城県高等学校国際教育研究協議会（申請中）
栃木県教育委員会（申請中）、栃木県私立中学高等学校連合会（申請中）
公益財団法人栃木県国際交流協会（申請中）



募集内容

教師海外研修の目的 は、実際に開発途上国を訪問することにより、開発途上国の現状や日本との関係に対する理解を深め、教育現場等で国際理解教育 / 開発教育を推進する中核となってご活躍いただくことです。

募集人数 10名

応募資格

- 応募および研修受講時点で、茨城県・栃木県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校(1~3年生を担当)の教員(児童・生徒に開発教育・国際理解教育を継続的に実践できる立場にある教員)で所属する学校の校長の推薦があること。
- 本研修参加後に学校現場の継続的な実践に十分な勤続年数を有している方。
- 過去に、本研修、JICA ボランティア事業、JICA 専門家等及び ODA モニター / 国際協力レポーター等で海外に派遣された経験がないこと。
- 本研修の趣旨・目的を十分理解し、**同研修の実施及び、以後 JICA が実施する国際理解教育 / 開発教育支援事業に継続的に協力可能であること。**
- 原則として、**国内研修及び海外研修の全行程に参加可能であること。**
- 研修国の事情(道路状況や衛生環境等)を勘案した上で、全研修行程に参加するに耐えうる健康状態であること。 ※参加決定者には、健康に支障のない旨の確認書をご提出いただきます。
- 帰国後、2週間以内に海外研修報告書を提出することに同意すること。
- 帰国後、本研修の定めた期間内に所属校において授業の実践を行い、当該授業の実践報告書を提出し、JICA のウェブサイトにて一般公開されることに同意すること。
- 参加者メーリングリスト等での情報共有に賛同いただけること。



応募方法

- ①QRコード または JICA筑波HP より応募フォームにアクセスし必要事項を入力
- ②顔写真と推薦文書をメールで提出 **<5月8日(金)必着>**

提出先: JICA筑波 開発教育支援事業代表アドレス jica_deved@salasusu.com
タイトル: [提出] JICA筑波 教師海外研修 推薦文書・写真提出 (学校名_氏名)



応募フォーム

選考日程

- 《予定日程》 ※以下日程はやむなく変更になる可能性があります。
- ◆一次選考(書類審査): 5月11日(月)~5月14日(木)
※一次選考通過者に面接日程を **メールにて通知**: 5月15日(金)まで
 - ◆二次選考(面接審査): 5月19日(火)~22日(金)
一次選考通過者に対して面接審査を実施します。
5月19日(火)、20日(水): <場所> JICA筑波 <時間> 10-17時の間
5月21日(木)、22日(金): <場所> とちぎ国際交流センター <時間> 10-16時の間
※希望日時を応募フォームにて伺います。
 - ◆結果通知期限: 5月29日(金)

注意事項

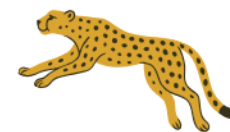
- 年休・研修等、研修中のサービスの扱いは所属先の判断によりしますので、ご自身でご確認ください。
- 本研修では、JICA における労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いにて参加され場合は、各所属先の責任において参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- 現地の治安状況等により、研修国や期間を変更することもあります。
- 現地での宿泊施設については安全面を考慮し、JICA で手配決定することを予めご了承ください。
- 面接の際にかかる費用は自己負担となります。
- 申込書に虚偽の記載内容が含まれている場合は、選考後でも参加資格が取消になる場合があります。
- ウガンダ入国時に黄熱病予防接種証明書が必要となります。合格された方には、予防接種についての詳細をご連絡いたします。

※研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける、あるいは決められた活動(研修・フォーラムへの参加、報告書提出など)に参加する意思がないと判断される方については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失います。海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合は、海外研修中であっても、速やかに日本に帰国させ、移動・滞在費等に係るキャンセル料等、および帰路の旅費も当該者の負担となりますのでご了承ください。

2025年度ウガンダ教師海外研修参加者 佐川 明日香 先生 (つくば市立春日学園義務教育学校) ※研修参加当時



プログラム



国内研修及び海外研修の全行程に参加可能であることが応募の条件となります。
※世界情勢の影響により、プログラム内容が変更になったり、海外研修を中止する場合があります。また、対面研修をオンライン研修に変更する場合があります。
※ここに記載する主な提出物のほか、渡航に関する書類などをご提出いただきます。



事前研修 6.13(土)-14(日)@JICA筑波

約半年間、研修をともにする仲間と出会い、2日間を通して JICA や ODA についての知識、海外研修の訪問国の現状、開発課題等への理解を深めるとともに、国際理解教育を実践するための学びを深めます。また、安心して渡航できるよう安全管理、予防接種、査証等についてもご説明します。

※この他にも、オンラインでの研修や打ち合わせが発生する場合があります。(数回程度)



海外研修 7.21(火)-31(金)@ウガンダ

海外研修では教育現場をはじめ、JICA や NGO のプロジェクト現場や JICA ボランティアの活動現場を訪問するほか、現地学校の児童・生徒との交流授業や現地マーケット等で教材研究のための素材収集等も行います。



事後研修 8.22(土)@JICA筑波

海外研修を振り返りながらそれぞれの情報を共有し、今後、授業でどのように伝えていくかアイデアを出しながら授業計画を考えます。

◆ 提出物: 海外研修報告書、授業案(帰国2週間後予定)



授業実践 9月~12月@各勤務校

それぞれの所属校で国内・海外での研修での学びや体験を生かした授業を実践していただきます。子供たちが何を知り、どう行動するようになるか、海外での経験と国内での研修の成果をいかに発揮してください。

◆ 提出物: 授業実践報告書(12月中旬予定)

※授業実践報告書は、「教師海外研修 成果報告書」として編さんの上、一般に配布され、JICA ウェブサイトでも公開されます。

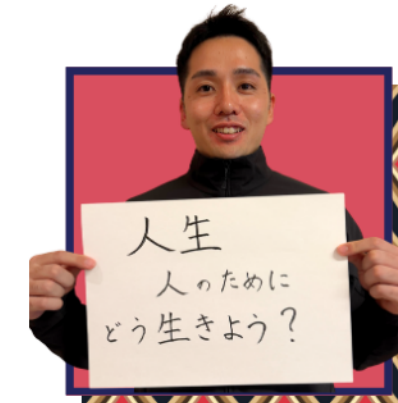


成果報告会 2027.2.6(土)@とちぎ国際交流センター 2.20(土)@JICA筑波

「海外研修で何を学び、どう授業に生かしたのか」「その授業を受けた児童・生徒が何を感じ、何を学び、どんな変化がみられたのか」「実践を通じてさらに何を考えたのか」など、国内外での研修の成果を報告します。



研修以後も、可能な範囲で国際理解教育の取り組みを進めていただくほか、JICA が実施する国際理解教育 / 開発教育支援事業への協力をお願いしています。(次年度研修参加者向け研修への出席、次年度報告書へのコラム執筆等)



2025年度ウガンダ教師海外研修参加者 滝本 大翔 先生 (茨城県立三和高等学校) ※研修参加当時